

【評 価】
1. 順調
2. ほぼ順調
3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R5年度事業内容	予算額	執行額	重要業務評価指標（KPI）	R4実績値	R5実績値	達成率（R5）	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
1	雇用創出	企業誘致の促進 【まちづくり政策課】	町内への進出を希望する企業や、事業用地を求めている企業に対し、訪問して情報を提供した上で、雇用促進奨励金事業の活用も考慮しながら誘致につながる取組を推進する。 また、国産ドローン製造メーカーへの補助等についても検討を進めている。	宮城県や金融機関との連携により小売業や運送業、農業参入企業等への事業用地提案を行ったほか、町内企業への訪問を随時実施し、情報収集を行った。	151	150	企業訪問数 令和6年度までに年間35事業所以上（令和5年度実績20社）	企業訪問数14社	企業訪問数20社	57.14%	町内外企業への訪問件数は20件となった。 また、設備投資の相談対応やWEBでの面談などを行った。	企業訪問等により新規企業の誘致や既立地企業においても積極的に情報収集や制度の周知のため訪問やWEBを活用した面談を積極的に行うことで達成できる見込みです。	2.25	別紙1に全事業記載しています。
2	雇用創出	就農支援事業 【農政商工課】	町内に居住している、または今後居住することが見込まれる農業で生計を立てようと希望している女性、及びその女性を雇用しようとする法人を支援することで、女性就農者の確保、農業所得の向上、移住・定住を促進する。	・大郷町農業振興総合補助金について、町内各農業生産法人へ概要説明及び相談を実施し、補助金の活用を推進することで、女性就農者の確保を図った。	6,588	0	女性就農希望者への就農相談件数 令和6年度までに年間2人	0人	1人	50.00%	町内法人に勤務する女性1名より、独立就農のための補助金活用について相談があったが、補助対象要件に該当せず、独立就農には至らなかった。	関係機関（県農業改良普及センター、JA、町等）が連携して相談及び支援体制を構築し、広報紙や町ホームページ等で広く周知するとともに、町内農業生産法人等に対し雇用計画の調査等を実施する。	2.75	
3	移住定住	空き地空き家活用移住促進事業 【まちづくり政策課】	町民や町外在住の物件所有者から空き地空き家の登録を募り、空き地空き家の利用を希望する人に物件情報を提供することで移住定住の促進を図る。併せて、空き家財道具等処分費用助成により空き家バンクへの登録を促す。	1. 空き地・空き家バンク （1）相談数：23件 （2）登録数：空き地1件、空き家5件 （3）利用登録者数：15名 （4）現地案内：12件 （5）空き地契約成立件数：3件 空き家契約成立件数：2件 （6）制度の周知及び空き家情報の提供：ホームページ掲載（随時更新）・広報 2. 住宅リフォーム助成金 2,215千円 町内業者が施工する持ち家または賃貸借した空き家の改修費の5分の1を助成 （1）助成数17件 町内居住者（限度額10万円） 13件 町内居住者で18歳未満の扶養親族がいる者（限度額30万円） 4件 町外居住者が空き家等を購入または賃借して転入する者（限度額50万円） 0件 （2）住宅リフォーム助成制度の周知：ホームページ掲載・広報 3. 空き家家財道具等処分費用助成事業 助成金交付 0件 4. ホームページ掲載（随時更新）	3,550	2,215	空き地空き家バンク活用による移住世帯数 令和2年度～6年度までの延べ数 8世帯 （平成28年～令和1年までの実績延べ7世帯）	0世帯	0世帯	50.00%	空き地空き家バンク登録件数は、令和5年度末で空き地が43件、空き家が34件となっている。 空き地は目標値を超えており、空き家は目標値まで5件となっている。	空き地・空き家バンクが周知されていることもあり、23件の相談があった。住宅リフォーム助成の活用と民間事業者との連携による空き家の更なる利活用推進により達成できる見込み。	2.00	
4	移住定住	住宅取得支援事業 【まちづくり政策課】	町内及び町外居住者で、町分譲地及び民間分譲地を取得し、分譲地取得後2年以内に住宅を建築する者又は建売住宅を購入するもので、18歳未満の子どもが同居する者等に補助金を交付し、町内への移住・定住を促進する。	住宅取得支援事業補助金について、町分譲地（原田地）取得者1件の補助金を交付した。	200	200	住宅取得支援事業の対象者数 令和2年度～令和6年度の延べ数 50人 （平成28年度～令和元年度の延べ数56人）	29人（10世帯）	5人（1世帯）	158.00%	令和4年度上期で目標を達成した。	民間事業者による宅地造成も計画されているため、更なる定住促進が見込まれる。	1.38	
5	移住定住	地域おこし協力隊受入事業 【まちづくり政策課】	町外の意欲ある若い人材を誘致し、移住して農業、観光、移住・定住等に関する職務に従事することで地域の活性化を図る。また、大郷町のPRに積極的に取り組んでもらうことで、本町のイメージアップを図る。	1. 令和5年度の隊員数 3名 2. 受入先法人 合同会社えにしホースパーク 1名（令和3年4月から活動） 株式会社ラトリエ 1名（令和4年9月から活動） 委託型（個人） 1名（令和5年5月から活動） 3. 主な活動内容等 受入先法人での馬を活用した地域振興や農業体験を通した農業振興、商品開発、民泊（農泊）による起業等	11,480	11,102	地域おこし協力隊受入の情報発信件数 令和2年度～6年度の延べ数 400回 （令和元年度の実績件数 45回）	134 （広報：12 SNS：122）	121 （広報：12 SNS：109）	110.75%	令和6年3月末で433件に達し、目標を達成した。	今後も複数のツールを使用し、情報発信を行う。	1.63	
6	移住定住	「道の駅おおさと」運営強化事業 【農政商工課】	魅力ある商品のラインアップづくりと、新鮮野菜の供給を毎日行うことで「道の駅おおさと」の活性化を図り、交流人口の増加、及びインターネット等を利用した販路の拡大と安定した売り上げを目標とする。	新型コロナウイルスが5類に移行し人の流れを取り戻しつつあるなか、お客様を飽きさせない、再訪問したくなる道の駅を目指し、新鮮な野菜や加工品などの地場産品を揃え、レストランではメニューの一部を更新し、活性化を図ってきた。また、道の駅敷地内を会場とした祭りを開催したり、民間事業者のイベントの会場として利用していただき、交流人口増加の相乗効果を生み出してきた。インターネット等を活用した販路拡大までは至らなかったが、SNSを活用して商品紹介をするなど町と公社で連携を図ってきた。	8,919	6,256	道の駅おおさとの売上 令和6年度までに 年間売上450,000,000円	449,228,777円	460,903,236円	102.42%	新型コロナウイルスの影響が残る中ではあったが、年間売上450,000,000円を達成することができた。また、入込客数も2%増加した。一方で物価高騰等の影響が続く、一人当たりの消費価格は減っている。安定した経営を図るために、インターネットによる販売開始と商品の安定供給の仕組み作りが必要である。	商品情報等の発信を行いながら、通信販売に適している商品や大郷ならではの商品を開発し、インターネットを活用した販路拡大を行うことで、売上達成が増加し目標達成が見込まれる。	1.75	

【評 価】
1. 順調
2. ほぼ順調
3. 課題あり

No.	目 標	事業名【担当課】	事業目的	R5年度事業内容	予算額	執行額	重要業務評価 指標（KPI）	R4実績値	R5実績値	達成率 (R5)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
7	移住定住	緑の郷活性化事業 【農政商工課】	施設本来の目的であるクラインガルデン事業（農泊）の推進を再構築し、交流人口の増加を図るとともに、新しい働き方のスタイルに応じた環境を整え、利便性を高めることでテレワーク勤務者や町内企業の出張者等による施設利用者の増加を図る。	デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、施設の一部をテレワーク施設とするため改修工事を行った。R6年6月末に完成し、今後有効活用を図っていく。サテライトオフィスやワーキングスペースのPRと活用促進を目的とし、マッチングイベント等に参加してきた。農園は有害鳥獣の被害があり体験受入れやイベント開催は中止となり、来客数は減少した。	98,242	36,267	パストラル緑の郷年間込客数 令和6年度まで 年間21,000人	11,021人	7,059人	147.07%	農園事業が有害鳥獣被害で思うような展開ができない中ではあるが、新しいコンテンツの内容を検討し、モニターツアーでの実証実験を行い販売を検討してきた。また、テレワーク施設への改修工事が進み、施設利用者を増やすためのPRや事業者への案内をしてきた。今後も、指定管理者と連携し、利用促進を図る。	新型コロナによる観光事業の変化やニーズが定着化し、今後、観光客やインバウンド旅行者が全国的に増加する見込みがある。緑の郷でも農業などの体験メニューと宿泊・食事をかけ合わせた新しい観光コンテンツについて、関係事業者と連携を図りながら商品化することで、さらに利用が増えると考えている。また、令和6年度から開始予定のテレワーク施設としての運営方法を明確化し、交流人口の増加を目指す。	2.63	
8	移住定住	情報発信強化事業 【総務課】	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）で整備したスマートフォン用WEBサイトを活用し、移住促進や子育て支援、イベント等の若者世代のニーズに対応した生活情報を提供するとともに、大郷町の魅力を町内外に向けてPRする。	ホームページの運営	2,191	2,191	HPアクセス数を500件/日	・アクセス数：495件/日 ※総数：180,526件	・アクセス数：355件/日 ※総数：129,523件	71.00%	HPアクセス数1日あたり約500件程度	コロナ関係が落ち着いたため、アクセス数は減少傾向にあるが、引き続きアクセシビリティを考慮したHPアップを行っていくため1日平均500件は達成できると思われる。	1.75	
9	結婚出産子育て	結婚応援事業 【まちづくり政策課】	1年成婚事業への登録者や、婚活イベントに参加した町内在住の独身者に対して助成金等の支援を行い、婚活を応援する。	HPに本制度に関する情報を常時掲載するとともに、広報紙にも掲載し周知を図った。	1,798	1,645	婚活情報の情報発信件数 令和6年度までに年間発信件数20回 （令和4年度の実施件数 34回）	情報発信件数 34件	情報発信件数 116件	580.00%	町ホームページや防災無線、SNSを活用したほか、行政区へも依頼を行い、制度の周知を行ったことにより、目標値を大幅に上回る結果となった。	今後も町単独の婚活イベントや各事業の周知活動を継続的にを行い、利用者の増加を図る。	2.63	
10	結婚出産子育て	すこやか子育て医療費助成事業 【町民課】	子育て家庭の経済的負担の軽減と、子どもの適正な医療機会を確保するため、子ども医療費の助成範囲を、現在の15歳に到達する日の年度末から、18歳に到達する日の年度末まで拡大する。	平成28年4月1日から、すこやか子育て医療費助成事業対象者を18歳到達年度末まで拡大した。 ・すこやか子育て医療費助成対象者 1,022人	33,600	32,985	対象者への支給率100%の維持 令和6年度まで100%を維持 （令和2年度の実績 100%）	100%	100%	100.00%	年度 対象者数 支給率 R03 1,101人 100% R04 1,067人 100% R05 1,022人 100% R06 （見込） 1,100人 100% （対象者数は年度末人数）	毎年度100%を達成している。	1.13	
11	結婚出産子育て	国民健康保険子育て支援補助金交付事業 【町民課】	大郷町国民健康保険に加入している18歳未満の被保険者がいる子育て世帯に対して、負担の軽減並びに子育て支援を図る。	令和4年度中に大郷町国民健康保険に加入している18歳未満の被保険者がいる世帯に対して、均等割相当額を補助金として交付した。	3,024	2,304	対象者への交付率100%の維持 令和6年度まで100%を維持 （令和2年度の実績 100%）	99.0%	98.70%	98.70%	対象児童のいる世帯 82世帯 対象世帯数 75世帯 （令和5年5月31日までに保険税を完納した世帯） 交付世帯数 74世帯 交付率 98.7%	制度の周知徹底を図るとともに、対象者に申請勧奨をすることで、100%の交付率を達成できる見込み。	1.13	
12	結婚出産子育て	不妊治療助成事業 【町民課】	不妊治療のうち、特定不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療費の助成を行う。	保険適用となり事業廃止。	0	0	特定不妊治療助成事業の情報発信件数 令和6年度までに年間発信件数18回 （令和4年度実績年間発信件数16回）	16回（ホームページ、LINE3回、広報誌12回）	保険適用となり、事業廃止。	0.00%	R4は、LINEによる周知回数を2回から3回に増やした。	無：令和4年度で事業終了	1.38	

個数 / 事業番号				評価		
事業別意見等				1	2	3
1						
企業誘致の促進				1	4	3
R5、R6の実績及び見込はやや少ないと思われる。「今後の課題」の「新型コロナ・・・」の記載は修正すべきでは？						1
引き続き情報収集をお願いしたい。国産ドローンメーカー誘致に期待している。				1		
個人や小企業の誘致をもっと考えてはどうか。						1
新規開拓だけでなく、再訪問・対応等でフォロー推進に努めてほしい。					1	
川内工業団地は全部誘致でき、良かったと思います。もっと大きな工場を誘致できると良いですね。					1	
令和5年度企業訪問数が20社であるが、本町に進出した会社がない。						1
(空白)					2	
2						
就農支援事業					2	6
現在大郷に住んでいる方すら、農業をやめたり、田んぼを売りたい方が多いのに、わざわざ就農支援をしてまで、農業をやらなくてもいいと思います。						1
実態はともかく、女性の就農支援という視点は必要と思われる。					1	
女性1名の該当できなかった内容が知りたい。						1
女性の取り組みが多い、加工系や6次化の視点で掘り起こしを行い、何かしらの支援策を講じてはどうか。						1
情報発信や農業生産法人への積極的なアプローチが必要。						1
(空白)					1	2
3						
空き地空き家活用移住促進事業				1	6	1
移住定住施策や持続可能な街づくりの点から重要。					1	
空き家について契約まで至らない場合が多いので、増加が出来るように。					1	
空き家を町でリフォームし、賃貸や移住の方に安く提供したらよいと思います。広大な土地付きで販売、賃貸、色々な形態で提供したらどうか？					1	
空き地3件、空き家2件の成立、順調だと思いますが、相談数に対し登録数が少ないと感じられる。				1		
現状をみると家財道具処分助成の財源をリフォーム事業に回した方が有効的ではないか。					1	
就農支援事業と空き地空き家活用移住促進事業を合わせたイベントを考えてみてはどうか。						1
相談件数も一応にあり、ほぼ順調。					1	
(空白)					1	

個数 / 事業番号				評価		
事業別意見等				1	2	3
4						順調
住宅取得支援事業	5	3		1.38		
引き続き定住促進に努めていただきたい。	1					
空き家＋土地を造成し、新しい住宅地で土地を販売すれば、鶺鴒のめぐみの丘団地のように人口が増えると思います。		1				
年齢制限等の条件緩和や撤廃を行う。子供がいなくても若者世代を対象とするなどすればさらに伸びるのではないか。	1					
(空白)	3	2				
5						ほぼ順調
地域おこし協力隊受入事業	4	3	1	1.63		
引き続き、様々な機会を通じ、情報発信してほしい。町のイベント等で町民と交流できる機会があれば、なお身近に感じ、イメージアップにつながるのではないか。	1					
活動を終了した協力隊へのサポート体制づくりは重要。		1				
協力隊の定住には、大郷町に住みたいと思っていただけるような町の変革が必要。	1					
地域おこし協力隊は必要ですか？こちらに事業費をかけなくてもよいと思います。			1			
(空白)	2	2				
6						ほぼ順調
「道の駅おおさと」運営強化事業	3	4	1	1.75		
いつ訪れても盛況であり、魅力づくりに成功している好事例。KPIの数値は売上金額よりは収支ベースが良いのでは？		1				
これから生産者をどう育成していくか。			1			
町内の子供のためにも、キッズコーナーを修繕し、屋内遊び場をぜひ、進めてほしい。		1				
売り上げはいいと思います。宮城県以外のお土産やお菓子がたくさん置いてありますが、売れているのか？あれはあまり必要ないと思う。		1				
売上目標の達成評価する。メインとなっている産直コーナー、産直会のメンバーが高齢化。今後の課題。	1					
野菜等を出す人たちの高齢化で年々出す人がいなくなっている。		1				
(空白)	2					
7						課題あり
縁の郷活性化事業	1	1	6	2.63		
10月から事業が止まっている。			1			
R4 11,021人、R5 7,059人でR6達成できるのか。SNSによる情報発信を強化し、利用者の増加に繋げてほしい。			1			
企業誘致、移住促進、就農支援、結婚応援等々の各事業において、大郷町を知ってもらいきっかけづくりの場と活用してほしい。			1			
現在、縁の郷が運営していないとお聞きしました。レストランは経営者募集するか、新しい運営方法を会議して集客ができるようになればいいと思います。そちらもペット可レストランにしたら、広大な景色とドックラン、動物愛好家の集客が見込める。それが天空ブランコやアスレチックを設置し、子ども連れやカップ			1			
(空白)	1	1	2			

個数 / 事業番号				評価		
事業別意見等				1	2	3
8						ほぼ順調
情報発信強化事業				3	4	1
スマートフォン、若者世代のニーズに対応しているが、高齢者には難しい。					1	
情報発信ツールとしてのSNS活用の観点も明記した方がいいと思う。						1
老人会、社協等、高齢者を対象としたスマートフォン講座等を企画すればさらにアクセス数が伸びるのではないか。				1		
(空白)				2	3	
9						課題あり
結婚応援事業					3	5
「少子化＝婚姻数の減少」であることはデータ上明確であり、本事業の重要度は一層高まると思う。今後の町直営婚活イベントの開催に期待。					1	
結婚は周りがお膳立てしても無理なので、今後やらなくてもよいと思います。参加する方いらっしゃいますか？						1
婚活イベントを実施して結婚をされた数がない。課題あり。						1
情報の発信だけでは成婚へ繋がらない。						1
単発的な婚活イベントではなく、継続的なサポートは必要。成婚者に対する特典等があればさらに魅力ある支援になるのではないか。						1
(空白)					2	1
10						順調
すこやか子育て医療費助成事業（拡充）				7	1	
100%。				1		
教育委員会・学校行事等を通じ、保護者への周知に努めてほしい。				1		
支給率100%達成。				1		
(空白)				4	1	
11						順調
国民健康保険子育て支援補助金交付事業				7	1	
100%の交付率達成見込み。				1		
ほぼ100%。				1		
県と連携を深め、支援継続に努めてほしい。				1		
(空白)				4	1	

個数 / 事業番号				評価		
				1	2	3
事業別意見等						
12						順調
不妊治療助成事業				5	3	1.38
すばらしい事業が保険適用になるまで続いたので良かったと思う。お疲れさまでした！				1		
町からも保険適用の周知を徹底してほしい。				1		
変更となった部分の周知、情報発信。					1	
(空白)				3	2	
13						ほぼ順調
公共交通再構築事業				4	3	1.63
学生は近隣の高校や駅のみへのスクールバスの扱い、高齢者はデマンド対応とするなど、抜本的に見直す。データ収集は必要と思うが、利用者アンケートは收拾がつかないと思う。						1
高齢化が進み、免許証返納も増加している中、日常生活に必要な交通手段として、運行路線や時間帯等対応をお願いしたい。				1		
日中帯はもっとコンパクトなバスで運営した方が、経費が掛からないと思います。AKBバスとかふれあい号の活用					1	
利用者増加の実績にて順調。				1		
(空白)				2	2	
14						ほぼ順調
大郷町国民健康保険各種検診料助成事業				2	4	2.00
受診率の向上に向け努力すべきである。						1
地区へ出向く機会での周知の徹底、助成措置の維持・新設を確保し、受診率向上に努めてほしい。				1		
日本人の2人に1人がガンになる時代。早期発見に向け、23%達成を。					1	
(空白)				1	3	1
15						ほぼ順調
ふるさと納税制度のPR事業				4	1	1.88
インパクトのある地場製品の開発。						1
企業誘致等の際にPRする機会があれば、何かしらのつながり・きっかけが持てるは。企業誘致につながらなくてもふるさと納税で協力するなど。また、町内企業等の関連企業や伝手を使用してPRする。						1
(空白)				4	1	1
16						順調
防犯灯LED化事業				6	1	1.38
区長等のヒアリングを通じて未設置地域の解消に努めてほしい。				1		
順調ではあるが、JAから右折すると暗いと感じます。				1		
中村地区だけでなく、大郷町全体にLED防犯灯を増やしてほしい。						1
(空白)				4	1	